

第162回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成21年9月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,784	-1.48	0.42	4,062	-0.02	0.76
東部地区	14,447	1.19	0.02	5,653	1.12	-0.19
西部地区	10,791	-0.60	-0.07	4,012	0.32	-0.19
駅南地区	6,370	-0.31	-0.31	2,669	0.45	-0.52
半田地区	3,615	1.11	0.50	1,344	1.97	0.00
横山地区	5,701	0.65	-0.10	1,870	1.35	-0.10
茨目・田尻地区	6,955	0.41	-0.21	2,323	1.30	-0.30
荒浜地区	5,121	-1.82	-0.21	1,992	-1.53	-0.20
その他地区	21,029	-1.36	-0.18	7,182	0.06	-0.05
西山町地区	6,306	-1.76	-0.14	2,122	-0.97	-0.14
高柳町地区	1,984	-0.94	0.50	855	1.78	0.82
柏崎市計	92,103	-0.51	-0.03	34,084	0.40	-0.04
刈羽村	4,923	-0.54	-0.34	1,541	0.12	-0.38
小国地区（長岡市）	6,445	-1.87	-0.23	2,151	-0.69	-0.04
出雲崎町	5,218	-1.36	-0.15	1,813	-0.87	-0.16
合計	108,689	-0.63	-0.06	39,589	0.27	-0.06

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で474人、0.51％、刈羽村で27人、0.54％、小国地区（長岡市）で123人、1.87％、出雲崎町で72人、1.36％と減少し、全体では696人、0.63％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で34人、0.03％、刈羽村で17人、0.34％、小国地区で15人、0.23％、出雲崎町で8人、0.15％と減少したことから、全体では74人、0.06％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で15世帯、0.69％、出雲崎町で16世帯、0.87％と減少したが、柏崎市で136世帯、0.40％、刈羽村で2世帯、0.12％と増加した結果、全体では107世帯、0.27％の増加となった。

また、前月比では、柏崎市で15世帯、0.04％、刈羽村で6世帯、0.38％、小国地区で1世帯、0.04％、出雲崎町で3世帯、0.16％と減少し、全体では25世帯、0.06％の減少となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	677		-35.95		-3.69	
月間有効求職者	1,824		74.88		-5.93	
月間有効求人倍率	0.37	0.38	-0.64*	-0.37*	0.01*	0.03*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が677人と前年同月比で380人、35.95％の大幅な減少、前月比でも26人、3.69％と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,824人と前年同月比で781人、74.88％の大幅な増加となったものの、前月比では115人、5.93％と減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.37倍と前年同月比で0.64ポイントと大幅に下回ったが、前月比では0.01ポイント上回った。なお、県平均0.38倍に比べて0.01ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が302人と前年同月比で80人、20.94％の大幅な減少となったが、月間新規求職者数は359人と前年同月比で50人、16.18％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.84倍となり、前年同月の1.24倍に比べて0.40ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成21年9月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	31	-43	-12	253	-321
共 同 住 宅	2	0	2	6	2
事 務 所	0	0	-1	5	-1
作 業 所・工 場	0	-3	-1	2	-11
営 業 建 物	1	1	0	17	-7
公 共 建 物	0	0	0	2	1
そ の 他	12	2	5	67	-7
合 計	46	-43	-7	352	-344

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が46件と前年同月比で43件の大幅な減少、前月比でも7件減少している。工種別における主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で43件、前月比で12件と大幅に減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が30件、増築が8件、改築が8件となっている。また、一般住宅（併用）31件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が12件（うち新築7件、増築2件、改築3件）、市外施工業者が18件（うち新築13件、増築2件、改築3件）、未定が1件（うち新築1件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,238	-1.45	-0.44	16,995	-4.62	-10.06
電 力	11,039	-3.02	-2.17	40,177	-18.56	3.97

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で960口、1.45%の減少、前月比でも290口、0.44%と減少している。一方、電力も前年同月比で344口、3.02%の減少、前月比でも245口、2.17%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で824kwh、4.62%の減少、前月比でも1,901kwh、10.06%と大幅に減少している。また、電力においては、前年同月比で9,161kwh、18.56%の大幅な減少となったものの、前月比では1,536kwh、3.97%の増加となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	771,131	9.26	2.15	756,204	-0.65	0.94
営 業 用	193,636	-3.48	-21.34	134,969	-6.81	-4.96
工 場 用	659,318	-17.66	17.35	154,181	-3.92	5.40
官 公 学 校 用	301,539	-13.45	-30.20	87,480	-5.13	-13.52
そ の 他				673	248.70	128.91
合 計	1,925,624	-6.32	-3.47	1,133,507	-2.19	-0.47

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で129,972m³、6.32%の減少、前月比でも69,291m³、3.47%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用を除くすべての用途で減少、前月比では営業用、官公学校用で大幅に減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で25,439m³、2.19%の減少、前月比でも5,378m³、0.47%の減少となった。用途別内訳を見ると、前年同月比ではその他を除くすべての用途で減少、前月比では営業用、官公学校用で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	91,739	-4.01	-9.97	95,998	-3.01	-11.68
西 山	50,676	-23.48	-17.54	46,043	-27.10	-23.69
米 山	24,493	-15.29	-33.81	22,825	-16.99	-32.12
合 計	166,908	-12.48	-16.69	164,866	-13.06	-18.65

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で23,808台、12.48%の減少、前月比でも33,461台、16.69%と大幅に減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で24,779台、13.06%の減少、前月比でも37,801台、18.65%の大幅な減少となっている。

インター別で見ると、すべてのインターの入口・出口において前年同月比、前月比ともに大幅に減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	353,235	2.20	-1.37	149,345	-0.21	1.51
平 残	358,483	2.47	-0.32	146,504	2.03	0.85

預金は、末残が前年同月比で7,607百万円、2.20%の増加となったものの、前月比では4,936百万円、1.37%の減少となっている。また、平残も前年同月比で8,672百万円、2.47%の増加、前月比では1,185百万円、0.32%と減少している。

一方、貸出金においては、末残が前年同月比で328百万円、0.21%の減少となったが、前月比では2,230百万円、1.51%と増加している。また、平残では前年同月比で2,927百万円、2.03%の増加、前月比でも1,236百万円、0.85%の増加となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	30,713	427.80	-2.54
交 換 金 額	19,312	248.93	-3.55
不 渡 り 手 形 枚 数	40	0.00	-23.07
不 渡 り 手 形 金 額	37	0.00	-3.99

(資料出所：長岡手形交換所)

柏崎手形交換所は、平成21年3月31日に廃止となり、新たに平成21年4月1日から長岡手形交換所に統合されたため、平成21年4月分から長岡手形交換所による計数となっています。なお、前年同月比については、平成22年3月分までは柏崎手形交換所との比較になります。

長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で24,894枚、427.80%の増加、前月比では801枚、2.54%の減少となった。また、交換金額は、前年同月比で13,778百万円、248.93%の増加、前月比では711百万円、3.55%の減少となっている。なお、不渡手形は40枚、37百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産2件（前年同月4件、前月2件）、負債総額1億円（同82億円、同1億円）となっている。地区別では、下越地区で2件（新潟市2件）発生しており、中越地区、上越地区では発生していない。業種別は販売業2件となり、倒産原因については、販売不振2件となっている。

当月の企業倒産は2件、負債総額で1億円と、前年同月比では件数で2件の減少、負債総額でも81億円の大幅な減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、前月と同様に底入れの動きがみられるものの、底ばいの厳しい状況が続いている。景気の先行きは依然として不透明感が強く、また雇用面も引き続き厳しい状況のなか、企業の景況感は下げ止まり傾向にあるものの、収益は依然として厳しい状況が続いている。